

社員と組織が、共に成長し続けます

「個人の成長なくして組織の成長なし」との考えから、社員一人ひとりの視点に立ち、個人の成長（キャリアアップ・スキルアップ）を支援しています。それと同時に、組込みシステム開発の分野でも強く求められている新たな価値を創造できる人材育成に取り組んでいます。



スキル標準に準拠した技術教育



議論を通して互いの経験から学びあう品質向上研修

「自ら育つ」自立の姿勢を重視、応援

「育成」というと「教えること」が優先されがちですが、社員一人ひとりが、自身の「ありたい姿」を目指し、自発的に行動し、自己研鑽に励むことが人材育成の原点と考えます。そのため、組込みスキル標準（ETSS）に準拠した、段階的で体系的に学べる研修群を整え、目的や自身のスキルに応じて受講できるようにしています。



組込みシステム開発を体感



実践の成果を共有

実践力を備えた技術者の育成

技術者育成で最も重視しているのが、実践力の習得です。そのために基本をしっかり身に付け、その上で得意な専門分野を持たせるようにしています。特に、新入社員や若手社員向けには、基礎技術から組込みシステム開発に関わる実践演習まで、充実したカリキュラムを用意しています。研修での学びを現場で実践、応用を繰り返すことでスキルの定着を図っています。



トップエグゼーティブプログラム成果報告



新規ビジネスの取組み成果を発表～成果発表会

未来を拓く価値創造人材の育成

「新しい何か」「共感できる何か」は、既存の技術や従来のサービスの延長線上ではなく、価値観や企業文化、専門分野を異にする「人」との切磋琢磨の中から生まれると考えています。社会や市場への問題意識や危機意識を持ち、異なる価値観を受容する、また多面的な思考が求められる場や機会を通して、新たな価値を創造できる人材を育てています。



第一線の技術者によるパネルディスカッション



新技術の理解のために鋭く質問～成果発表会

社会のために、未来のために、今できること

富士通コンピュータテクノロジーズは、社会的責任を果たすべく、事業による未来への貢献とともに、私たちの生活に密着した多様な取り組みを行っています。「企業は社会の一員」との考えに立ち、社会の発展を支える企業市民として、様々な活動を通じて社会のために尽くす企業であり続けたいと考えています。

「家族ロボット教室」活動

家族ロボット教室は、社員がボランティアで現地に赴き、子供とその家族にロボット製作を通して科学の面白さを伝える活動です。「被災地の子どもたちに将来の夢を持ってほしい」という思いのもとに、岩手県内での月1回開催を中心に、被災地以外にも活動範囲を広げています。

第7回キッズデザイン賞では、復興支援デザイン部門奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）を受賞しています。



ロボット組立作業



地域社会貢献活動・自然環境保全活動

川崎・長野各工場周辺の清掃活動に、定期的に参加しています。530運動の発祥地、愛知県豊橋市では、530運動環境協議会主催の市民公園、駅前、海岸などの清掃活動にも継続的に参加しています。

また、自然環境保全活動の一環として、小中高校向けの環境負荷低減行動の啓発を目的とした環境教育の出前授業の講師や、自然は自分達の手で守るという緑化保全活動に、継続的に参加しています。



川崎工場周辺清掃活動



豊橋市干潟清掃活動



パソコン分解体験教育



竹伐採活動

地域社会との共生

長野市の代表的なお祭りである「長野びんする祭り」に本社、豊橋、長野の社員／家族の富士通コンピュータテクノロジーズ連として毎年参加、社会の一員として地域社会との共生に努めています。



長野びんする祭り参加者



長野びんする祭り踊りの様子